

上関 未来通信

豊かな町を原子力発電とともに

上関町まちづくり連絡協議会・会報

No.45
正月号
通算359号
発行 令和6年1月23日

2023年の出来事

- 1/11 上関未来通信42号（正月号）発行
- 3/22 町連協幹事会
- 5/31 上関未来通信43号発行
- 9/22 町連協幹事会
- 10/26 原子力の日（のぼり・設置街宣活動）
- 10/29 青壮協がエネルギー講演会を開催
(講師：奈良林直氏)
- 11/27 上関未来通信44号発行
- 12/20 町連協幹事会

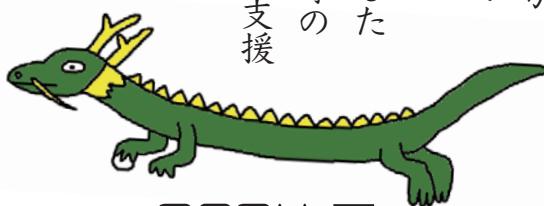
横島付近から昇る朝日（惣津地区越しに望む）

頌春



また、上関町においては、昨年8月に中国電力が新たな財源確保策・地域振興策として上関町に回答した使用済燃料中間貯蔵施設の設置に係る調査・検討について、現在、立地可能性調査が進められているところです。当会としましては、上関町の実情と、中間貯蔵に関する正しい情報をもとに冷静に議論することが必要と考えており、今後とも情報発信等を実施してまいります。

最後に、本年が皆さまにとりまして、幸多く実りある一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



2024辰

イラスト/古泉祥央氏



上関町まちづくり連絡協議会
代表幹事 藤井 快宏

新年あけましておめでとうございます。皆さんには穏やかな新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より「上関町まちづくり連絡協議会」の活動にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げられ、上関町でも「水軍祭り」や「愛・ランドフェア」などの様々な行事が再開され、私たちの暮らしに日常が戻りつつあることを感じることができました。

さて、原子力に目を向けると、昨年、脱炭素社会の実現とエネルギーの安定供給の両立を目指した、GX実現に向けた基本方針が閣議決定され、脱炭素エネルギーである原子力発電を活用する国の方針が明確化されました。引き続き、こうした国の動きを注視していくとともに、上関原子力発電所の建設に向けた動きが一日も早く進むことを期待しています。

また、上関町においては、昨年8月に中国電力が新たな財源確保策・地域振興策として上関町に回答した使用済燃料中間貯蔵施設の設置に係る調査・検討について、現在、立地可能性調査が進められているところです。当会としましては、上関町の実情と、中間貯蔵に関する正しい情報をもとに冷静に議論することが必要と考えており、今後とも情報発信等を実施してまいります。

当会では本年も、原子力発電所の立地を契機とした活力ある豊かな町づくりに向け、講演会や勉強会等の理解活動を行ってまいります。本年も、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

最後に、本年が皆さまにとりまして、幸多く実りある一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

西哲夫町長の将来に向けて

新春インタビュー

西哲夫町長が誕生して1年あまりが経ちました。これまで上関町の地域振興に向けて様々な対策に取り組んでおられます。中でも昨年8月18日に公表された「使用済燃料の中間貯蔵施設建設に係る調査・検討の受け入れ」については、町内外から大きな反響がありました。こうした中、西町長を迎えて、青壮年連絡協議会のメンバー3名と「新春対談」を開催させていただきました。今回はこの対談の内容を要約して掲載します。

西●最初に私より、平素から町行政に対してもご支援とご理解をいただいていることに對しお礼申し上げたい。「青壮年連絡協議会」はもともと我々が立ち上げた会で、初代の会長は原田嘉明さん、私が副会長でした。この組織で原子力発電所の誘致を進めることで、上関町のまちづくりのためになる、ということで様々な活動をしていました。会を皆さんに継承して、活動していただきて大変あります。

本日は、ざつくばらんにお話したいと思います。よろしくお願ひします。

守友●2022年10月の町長選挙で

は、原子力推進の立場で戦い、町民の7割を超える支持を得て当選しましたが、この結果をどのように受け止めていますか。また、上関原子力計画に動きがない中で、その民意にどう対応してきましたか。

西●当時、私は75歳で、議員を27年、議長職は9年目に入っていました。こうして長期にわたり、ご支援いたいた恩に報いるためには、上関町のためにもうひと踏ん張りしなぎやならん、という思いで立候補を決断しました。

立候補にあたり、私は『原子力発電所は上関町のまちづくりに必要です』という言葉をいただきました。

ある』ということを明確に表明しました。結果、70・4%の得票率で当選することができました。これは現れだつたのでしよう。

町民がこの選挙を「最後の原子力選挙にしてもらいたい」という強い思いの現れだつたのでしよう。

国のお墨付きを得た原子力計画

上関町では、様々な職種で二代目、三代目が一生懸命頑張っています。この人たちが仕事を続けられる町にしなければなりません。

また、私は青壮年連絡協議会にいた時代から何度か祝島に渡り、意見交換をしていました。島の存続、振興に

強い思いを持つている人も多く、この人たちの思いにも報いたいと考えています。

昨年2月、私は西村経済産業大臣(当時)に会いました。岸田総理が「原子力を最大限活用する」と表明し、原

子力に追い風が吹いてきた中で、上関

原子力発電所の位置づけを問いました。これに対し、西村大臣からは「原

子力発電所の新增設については、今は

明確に提示することはできないが、上

関町は重要な電源開発地点に指定され

ており、国もしっかりと支えていきます」という言葉をいただきました。

上関町の現状と見通し

守友●上関町の現状と将来の見通しはどうのようにお考えですか。また、現在の住民のサービスレベルを維持できるのは、あと何年くらいなのでしょうか。

西●町は様々な課題を抱えています。

少子高齢化、人口減少、産業の衰退、どれも全国的にトップクラスです。

中でも人口減少は深刻です。近年では毎年100人ずつ減っています。

この人口減少をいかに緩やかにするかが課題です。自然減少はやむを得ないが、町外へ家族と出て行くのが一番痛手です。

町財政については、2023年度の当初予算は一般会計で約35億円。そのうちの町税は1億8千万円あまりで、予算全体の5・6%しかありません。ですから一般財源の多くを国からの地方交付税に依存している状況です。地方交付税は人口に対して換算されるため、人口減少は財政に与える影響も大きいのです。

このような財政状況にあっても、住民の生活負担軽減にかかる支援はできる限り続けていきたい。現在、

また、この時に『エネルギー構造高度化・転換理解促進事業』という補助金の採択のお願いもしました。その後、無事に採択され、3月議会の2023年度当初予算で調査費用の2千万円を計上。現在、道の駅や鳩子の湯、栽培漁業センターなどに太陽光発電設備の設置に係る調査をしています。この補助金は全国から応募がありますが、上関を採択してくれたのは、やはり国の政策に協力している点が評価されたものと思っています。

松原●子供たちに对して行われている医療費、バス運賃、給食の補助なども継続可能ですか?

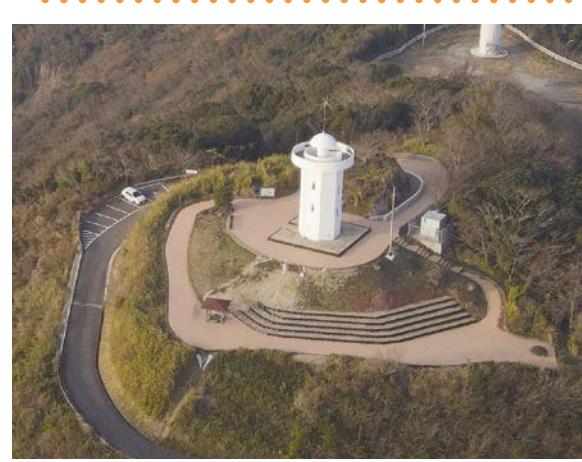
西●子育て支援についての優先順位はむしろ上げなければならないと思っています。子育て世代が安心して

生活できる環境は町の重要施策なので、できる限りの予算を確保していく予定です。

田中●人口減少に対する施策の中で、交流人口を増やすための対策はどうですか?

西●上盛山は観光施設として前町長の時から整備計画がありました。人が集まる場所にするため、駐車場の整備やシダレザクラの植樹、海を越えてやつて来る蝶のアサギマダラが集まるフジワカバを植えたりしています。

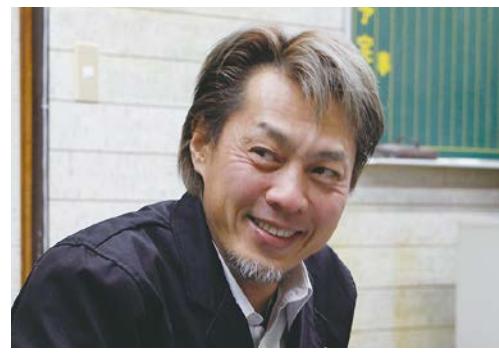
上盛山は国東半島から佐田岬、周防大島、広島が見えるなど、景色に感動する人が多いんですよ。道の駅や鳩子の湯に来た人たちに、1年を通じて上がつてもらえるような施設にしたいと思っています。



進む上盛山の整備



上関町長 西 哲夫氏



青壮年連絡協議会 事務局長 松原 聖



中間貯蔵施設設立地の効果

くりのための財源確保につながる新たな地域振興策を検討して欲しい」と要請しました。そして8月2日、中国電力から「中

国電力に対して「まちづくりのための財源確保についていくでしょ。何かアクションを起こさなければいけない。

経済効果は大きい

中間貯蔵施設の建設は、単に倉庫

を建てるだけではなく、港湾の整備



西●実際には、まだ現地を見学していないので、まずは現地の状況を確認するため、まずは現地を見学する予定です。

西●立場で説明を

上関町の経済を立て直し、町民が安心して暮らせるまちづくりを目指して一生懸命働きます。皆さんの方もぜひお借りしたい。今年もよろしくお願いします。

中間貯蔵施設について、調査の結果が出てから、皆さんと一緒にしっかりと議論を尽くして方向性を示したいと思います。

月2日、中国電力から「中

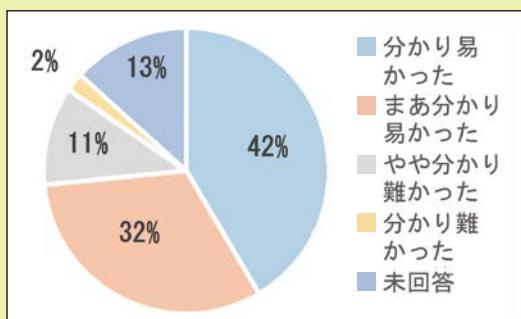
国電力に対する要請でした。

西

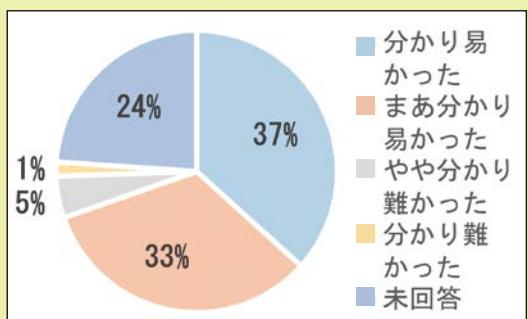
●立場で説明を

アンケート結果を一部抜粋してご紹介します

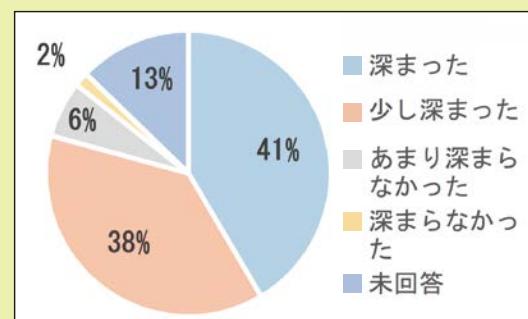
Q. 配布資料はいかがでしたか。



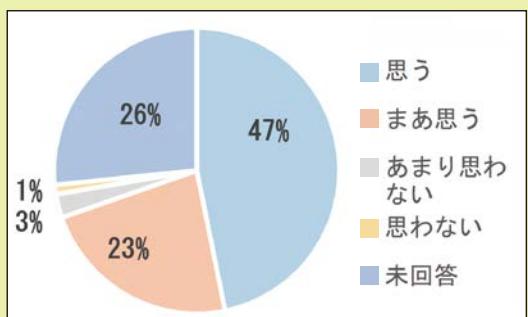
Q. 講師の話し方はいかがでしたか。



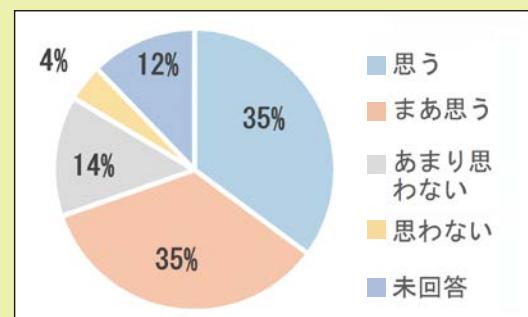
Q. 講演を聴いた事で、理解は深まりましたか。



Q. 今後もこのような講演を聴いてみたいですか。



Q. 本日の講演を聴いて、もっと詳しい話を聞きたいと思いましたか。



講師の奈良林直氏

一方、「専門用語が多いと感じた」や「もう少しテーマを絞ってもよかったです」等のご意見もいただけており、その点に関しては、今後、講演会を開催する際に参考とさせていただきます。

その他にも、「中間貯蔵施設の話が駆け足だったり残念」や、「中間貯蔵施設の話をもっと聞きたかった」というご意見も多く寄せられており、中間貯蔵施設について詳しい話が聞きたいと思い講演会にご参加いただいた方々にとっては、少し物足りない内容であったかとも思います。「一度で理解することは難しく、繰り返し聞くことで理解が深まる」というご意見もいただいていることから、今後も中間貯蔵施設をテーマにした講演会等を企画したいと考えています。

また、当日の質問でもありましたが、放射線に関するご意見等について不安視するご意見等も見受けられます。中間貯蔵施設は、今後の上関町における町づくりに資するものと期待していますが、町民の皆様の安心・安全が担保されることが前提であることは言うまでもありません。

不安な点や疑問に思うことは、中国電力や町等にしっかりと確認し、中間貯蔵施設について正しく理解する取り組みを行っていきたいと考えます。

また、今回の講演会のように多くの皆様にご参加いただけると私たちの活動の励みになりますので、今後とも青壮協の諸行事にご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

一方、「専門用語が多いと感じた」や「もう少しテーマを絞ってもよかったです」等のご意見もいただけており、その点に関しては、今後、講演会を開催する際に参考とさせていただきます。

その他にも、「中間貯蔵施設の話が駆け足だったり残念」や、「中間貯蔵施設の話をもっと聞きたかった」というご意見も多く寄せられており、中間貯蔵施設について詳しい話が聞きたいと思い講演会にご参加いただいた方々にとっては、少し物足りない内容であったかとも思います。「一度で理解することは難しく、繰り返し聞くことで理解が深まる」というご意見もいただいていることから、今後も中間貯蔵施設をテーマにした講演会等を企画したいと考えています。

また、当日の質問でもありました、放射線に関するご意見等について不安視するご意見等も見受けられます。中間貯蔵施設は、今後の上関町における町づくりに資するものと期待していますが、町民の皆様の安心・安全が担保されることが前提であることは言うまでもありません。

アンケート結果では、「講師の奈良林先生の話は分かり易かった」、「中間貯蔵施設についての理解が深まった」、「今後もこのような講演を聴いてみたい」等のご回答の割合が多く、概ねご好評をいただけたものと受け止めています。

一方、「専門用語が多いと感じた」や「もう少しテーマを絞ってもよかったです」等のご意見もいただけており、その点に関しては、今後、講演会を開催する際に参考とさせていただきます。

その他にも、「中間貯蔵施設の話が駆け足だったり残念」や、「中間貯蔵施設の話をもっと聞きたかった」というご意見も多く寄せられており、中間貯蔵施設について詳しい話が聞きたいと思い講演会にご参加いただいた方々にとっては、少し物足りない内容であったかとも思います。「一度で理解することは難しく、繰り返し聞くことで理解が深まる」というご意見もいただいていることから、今後も中間貯蔵施設をテーマにした講演会等を企画したいと考えています。

また、当日の質問でもありました、放射線に関するご意見等について不安視するご意見等も見受けられます。中間貯蔵施設は、今後の上関町における町づくりに資するものと期待していますが、町民の皆様の安心・安全が担保されることが前提であることは言うまでもありません。

10月29日（日）、上関町総合文化センターにて開催した「エネルギー講演会」には、お忙しい中、多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

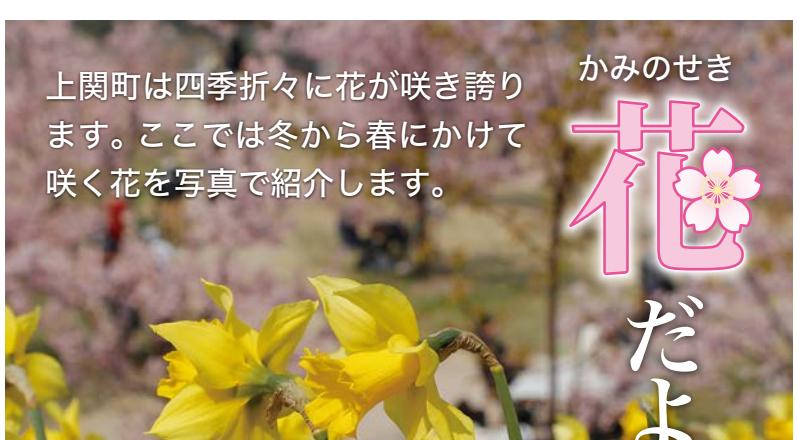
また、講演会終了後にお願いしたアンケートについても、約8割の方から数多くのご意見等を頂いたことに對し、重ねてお礼申し上げます。

アンケート結果では、「講師の奈良林先生の話は分かり易かった」、「中間貯蔵施設についての理解が深まった」、「今後もこのような講演を聴いてみたい」等のご回答の割合が多く、概ねご好評をいただけたものと受け止めています。

一方、「専門用語が多いと感じた」や「もう少しテーマを絞ってもよかったです」等のご意見もいただけており、その点に関しては、今後、講演会を開催する際に参考とさせていただきます。

冬から初春にかけてのメインは「花咲く海の町」をキヤッチフレーズにまちづくりを行っている上関町では、四季を通じて様々な花を楽しめます。

冬から初春にかけてのメインはスイセン。「スイセンの町」としても知られている通り、白や黄色のスイセンが各地で花開きます。そして春には河津桜、菜の花、ソメイヨシノと本格的な花のシーズンが始まっています。



かみのせき
花だより



会報「上関未来通信」No.045 ●発行／上関町まちづくり連絡協議会 〒742-1402 上関町長島 582-2 電話・FAX 0820-62-1502 Eメール：develop-k@kvision.ne.jp

城山公園の河津桜（2月下旬～3月）

● 新春座談会は、西町長から青壮年連絡協議会の皆さんへの「町づくり」への活動に対する敬意と感謝のお言葉から始まりました。● 座談会では、2022年10月の町長選挙の出馬に対する思いや、上関原子力発電所建設の必要性について熱く語られたほか、上関町における財政状況や、なぜ中間貯蔵施設の調査・検討を受け入れたのか、選挙公約にあつた「持続可能な町づくり」「住民に寄り添った行政」などについてもお話をいただきました。西町長からは「何よりも、ふるさと上関町を次世代に繋げる」という強い思いを感じました。

● 青壮年連絡協議会からの質問に、終始にこやかに対応して頂き、あらためて西町長のお人柄の素晴らしさを感じました。この度は、ありがとうございました。● また、新春座談会に参加して頂いた青壮年連絡協議会の御三方に感謝いたしました。● 今年は上関町が新たなスタートをきる年となり、辰のごとく舞い上がって行きたいですね。(K)